

平成 31 年 4 月

魚津市定例記者会見



日時：平成 31 年 4 月 1 日（月） 午後 1 時 30 分～午後 2 時 00 分

場所：市役所第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞社、読売新聞社、朝日新聞社
NHK、KNB、BBT、NICE TV、ラジオミュー

市当局出席者：市長、副市長、教育長、企画総務部長、民生部長、産業建設部長
企画政策課長

1. 市長からの発表事項

(1) 「魚津 2040 会議」を新たに設置します。

- ・20代から40代の若い世代の意見や声を、公共施設の再編に反映するために「魚津 2040 会議」を新たに設置する。ここでの意見を行財政改革推進委員会に反映させていく。

（説明内容は別添プレスリリースのとおり）

(2) 国民健康保険医療費分析結果の概要を報告します。

- ・レセプト及び特定健診のデータを基に、統計分析からの課題の洗い出しを行い、分析結果を活用して保険事業を実施することを目的に医療費分析を行った。数値からみられる実態を説明する。

今後もしっかりと分析を続けていき、市民に必要な健診や受診の所要や、医療機関と連携した対応を考えていきたい。

（説明内容は別添プレスリリースのとおり）

2. 教育委員会及び各部長からの説明事項

〈教育長〉

- ・魚津市立星の杜小学校に開校式典の実施について
- ・市立小中学校 1 学期始業式
- ・市立小中学校入学式、大町幼稚園入園式
- ・第 39 回魚津しんきろうマラソン

（3 月末現在で参加者 6762 名 前年比+81 名）

〈企画総務部長〉

- ・「片貝来られハウス」の開所式

（移住体験施設をオープン。県移住者受入モデル地域に県内 6 番目の指定）

〈民生部長〉

- ・ こども医療費等各種医療助成制度において福祉医療費請求書の提出が不要に。
- ・ 市内公私立保育園、認定こども園入園式
- ・ 認知症ドキュメンタリー映画「ぼけますから、よろしくお願いします。」
- ・ チャイルドシート講習会（子育て支援センターのびのび）

〈産業建設部長〉

- ・ 魚津市6次産業化等推進戦略を策定
- ・ 第14回桜のページェント
- ・ 緑化木苗の街頭無償配布
(今年はグリーンカーテン用の苗も配布予定)

3. 質疑応答の内容

「魚津2040会議」をについて

《記者からの質問》

行財政改革推進委員会は任期2年で、まず、9月を目処に公共施設再編方針の作成等に関わってもらい、その後も行財政改革に関して関わっていくことになっていたと思うが、魚津2040会議はどのような形なるのか。

《回答》(市長)

まだ、どこまで関わってもらうかは決まっていないが、まずは、公共施設再編の件について意見を聴きたいと思う。施設ユーザー層であり、将来の負担層であるため、市役所だけでは決められない、公共施設のあり方について意見を聴いていきたい。そのうえで、他の色々な分野のことについても考えていきたいと思う。

《記者からの質問》

9月までに何回くらい意見を聴く機会を設けるのか。

《回答》(市長)

本会議(行財政改革推進委員会)が、4月下旬に行われる前には一度行いたい。次に6月に中間取りまとめを行う前にも行うことになると思う。夏に市民フォーラムを行い、9月中に方針決めていく本会議を行うことになるので、その前にも意見を聴くことになると思う。そのように考えると、9月までに3回くらい機会はあるのではと思うが、現在のところ細かいことは決めてはいない。

「新元号発表」について

《記者からの質問》

市長は、県職員時代に高志の国文学館の立ち上げに関わられた。また、平成29年度は「全国植樹祭」が魚津市で開催され、天皇、皇后両陛下をお迎えしたところであるが、今回、新元号が発表され、どのように受け止められたか一言お願いした

い。

《回答》（市長）

テレビでの報道や、インタビューを受けている県民の反応を見たが、元号としての響きや親和性はいいのではと思った。今回は、出展が万葉集巻五の梅の花を詠んだ 32 首のその序文から出典されていると説明されていた。高志の国文学館が開設し、初回の企画展が大伴家持をメインとした万葉集の世界だった。中国の古典を離れて、日本の万葉集が出典になるという時代になったことに対する感慨はある。よかったのではないかと考えている。歌の作者は不詳とのことだが、大友家持の父の大伴旅人が大宰府で梅の花見の宴会を開いたときに詠んだ歌の序でないかといわれている。作者不詳ではあるが、そのような物語もゆかりになるので、それも良いのではないかと考えた。

「国民健康保険医療費分析結果の概要」について

《記者からの質問》

国民健康保険医療費分析結果の概要について、これを行えばこれだけ費用を減らせるという数字が出ているが、これは行財政改革の目標値として掲げられる数字であるのか。

《回答》（市長）

これは理論値としての値である。大切なのは、どこまで受診率を高められるか、あるいは重複多剤を抑えられるかということであり、具体的に行政改革のなかに組み込んでお示しできるものとは性格が違うと考えている。健康づくり、病気の予防をどう進めていくかということは、自治体にとって大きなテーマである。健康づくりのことは以前から話してきたが、スローガンをいうだけではなかなか健康にはなっていない。これは具体的な対象疾病とそれに対応策を考えていくうえでの基礎データである。